

JAMA/JAPIA統一データシート改正内容のまとめ (Ver.2.10向け)

- 本資料は、JAMA/JAPIA統一データシートのバージョンアップ(Ver.2.10)による変更点をまとめたものです。 [09年10月1日リリース予定]
- 最新版のJAMA/JAPIA統一データシートは、09年10月以降、JAPIAホームページ (<http://www.japia.or.jp/>) より入手できます。
- JAMA/JAPIA統一データシートは、今後もバージョンアップされる可能性があります。

2009年10月1日
(社)日本自動車部品工業会
環境負荷物質WG

<Ver.2.10による改訂内容一覧表>

ファイル	改訂項目	改訂内容	詳細説明
I. 入力 帳票	1. SVHC入力時 の表示変更	<p>REACHにてSVHC(高懸念物質)に指定されている化合物を入力した際、文字フォントのスタイルを「斜体」とし、入力者に注意を促す機能を追加しました。</p> <p>[対象となる入力項目] 化合物コード(項目番号:24) 化合物名称(項目番号:25)</p> <p>(注) ・SVHCはJAMA/JAPIA統一データシートの改訂時点で指定されている化合物が対象となります。 改訂後に追加されたSVHCは対象外です。 ・REACHの概要については、「自動車業界のREACHに関するガイドライン」を参照して下さい。(部工会ウェブサイトに掲載中)</p>	6ページ

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

ファイル	改訂項目	改訂内容	詳細説明
I. 入力 帳票	2. 入力項目追加 プロセスケミカル の存在形態	IMDSとの整合化のため、入力項目を追加しました。 [対象となる入力項目] プロセスケミカルが存在形態 (項目番号:23) (注) ・追加された列は、JAMA/JAPIA統一データシート(Ver.2.03)以前は 物質名称(項目番号:23)であった列を利用しています。	7ページ
	3. 入力項目削除 リサイクルマーク	IMDSとの整合化のため、入力項目を削除しました。 [対象となる入力項目] なし (非表示としたため) (Ver.2.05 以前は、リサイクルマーク(項目番号:33))	8ページ
	4. 「材料の選択」 画面の改善	「材料の選択」の画面の内容を修正しました。 ・画面のレイアウトの変更 ・プレビュー画面を追加 構成材料名称(項目番号:13)の [選択] ボタンをクリック した場合に表示される画面です。	9ページ

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

ファイル	改訂項目	改訂内容	詳細説明
I. 入力 帳票	5. 「化合物の選 択」画面の改善	<p>「化合物の選択」の画面の内容を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面のレイアウトの変更 ・プレビュー画面を追加 <p>化合物コード(項目番号:24)の[選択]ボタンをクリックした場合に表示される画面です。</p>	11ページ
	6. エラーチェック 改善 化合物含有率	<p>IMDSとの整合化のため、ワイルドカード化合物を入力した際に警告を表示する含有率の上限値を判定する処理を修正しました。</p> <p>[対象となる入力項目]</p> <p>化合物含有率(最小値) (項目番号:42) 化合物含有率(最大値) (項目番号:43) 化合物含有率(残部) (項目番号:44)</p>	13ページ
	7. 表紙	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョン、日付を更新しました。 ・改正の説明を追記しました。 	14ページ
	8. 入力要領	<ul style="list-style-type: none"> ・プロセスケミカルの存在形態を追加しました。 ・リサイクルマークを削除しました。 	15ページ

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

ファイル	改訂項目	改訂内容	詳細説明
I. 入力 帳票	9. ファイル出力 ボタン	・入力帳票にもファイル出力ボタンを追加しました。	(なし)
II. 外部 リスト	10. 材料リスト MAT	・ JIS規格の改訂内容を反映しました	(なし)
	11. 化合物リスト IMDS_SUB	・ IMDS BSLの変更内容(追加・修正・削除)を反映 しました。 ・ これに伴い、化合物名称(日本語)、GADSL分類 を見直しました。	(なし)

I. 入力帳票の改訂内容

1. SVHC入力時の表示変更

REACHにてSVHC(高懸念物質)に指定されている化合物を入力した際、文字フォントのスタイルを「斜体」とし、入力者に注意を促す機能を追加しました。

	24	25	
	化合物		
	化合物コード 選択	化合物名称	
SVHCの場合	<i>84-74-2</i>	<i>DBP</i>	<div style="border: 2px solid red; background-color: yellow; padding: 5px;"> <変更点> 「斜体」の文字にて表示 </div>
SVHCでない場合	7439-92-1	Lead	

⇒「標準」の文字にて表示
(従来どおり)

(注意事項)

- 表示の変更は、「エラーチェック」実施後に行われます。
特に、化合物のデータを手入力した場合、入力した時点では変更されませんのでご注意ください。
- 文字の色は、GADSLの区分に従って表示しており、SVHCとの関連はありません。
禁止(P): 赤色、禁止/要申告(P/D): 紫色、要申告(D): 茶色

2. 入力項目追加 (プロセスケミカルの存在形態)

7/16

項目番号	20	23	24
項目名称	含有数 整理番号	化合物 プロセスケミカルの存在形態	化合物コード
定義	・材料中に含有する調査対象化学物質の連番	・プロセスケミカルを入力する場合、その含有形態 プロセスケミカルとは、一般的に、製造工程の中で揮発したり、他の化合物に変化する化合物	・化学物質のCAS Code
記入者	調査先	調査先	調査先
必須		必須 (入力する化合物がプロセスケミカルかつ含有率が0.1%を超える場合)	必須 (化合物を入力する場合)
データ型	半角数字	半角数字 (「1」「2」「3」のいずれか)	半角英数字
桁数(整数)	3	2	300
桁数(小数)	①入力する「セル」を選択	0	0

<変更点>
入力列を追加

プロセスケミカルの存在形態の選択

プロセスケミカルの存在形態を選択してOKボタンを押して下さい。

1: Intended use(意図的使用)
 2: Reaction residue(反応残)
 3: Impurity(不純物)

③入力する「存在形態」を選択

④クリック

OK キャンセル

⑤ 存在形態が入力される

(注意事項)

- ・ 入力した化合物がプロセスケミカルでない場合は入力不要です。
プロセスケミカルでない化合物に入力した場合は、エラーチェック時に自動で削除されます。
- ・ 追加された列は、Ver.2.03以前に物質名称 (項目番号:23) として利用していた列です。
- ・ XMLファイルへの出力を行った際、入力値が設定されます。
ただし、Node ID [材料](IMDS管理) (項目番号:46) が入力されている場合は出力されません。

3. 入力項目削除 (リサイクルマーク)

項目番号	32	34
項目名称	リサイクル	リサイクル
	材質表示	アプリケーション 選択
定義	・部品に「材質マーク」を表示していることを示すコード	・IMDSで定められている有害物質を使用している場合の使用目的コード
記入者	調査先	調査先
必須	必須 (VDA材料分類コードが5.1.a、5.1.b、かつ材料質量の合計が100g以上、もしくはVDA材料分類が5.3かつ材料質量の合計が200g以上の材料を含む構成部品の最上行のみに入力)	必須 (規制物質の場合)
データ型	「Y」「N」「N/A」のいずれか	半角英数字
桁数(整数)	3	10
桁数(小数)	0	0

<変更点>

リサイクルマーク (項目番号:33) の入力列を削除

(注) Excelでは非表示になっています。

(注意事項)

- ・ Ver.2.05 以前にて作成したCSVファイルを、Ver.2.10 に取り込みを行うと入力されていたリサイクルマークが自動的に削除されます。

4. 材料の選択画面の改善

項目番号	13
項目名称	構成材料
定義	構成材料名称 選択 クリック ・構成部品に使用している材料名称
記入者	調査先
必須	必須 (材料を入力する場合)
データ型	半角英数字
桁数(整数)	40
桁数(小数)	0

材料の選択

検索条件を入力して検索ボタンを押して下さい。

表面処理識別: 材料コード(金属・その他):

材料名称(英語): 材料記号(樹脂・ゴム):

材料名称(日本語): モリブデン VDA材料分類コード:

材料規格:

検索 キャンセル

OKボタンを押すと材料情報が入力されます。
すでに材料情報が入力されている場合にはデータが上書きされます。

47件の材料が見つかりました。

表面処理識別	材料名称(英語)	材料名称(日本語)	材料規格	材料コード(金属・その他)	材料記号(樹脂・ゴム)	VDA材料分類コード	NodeID[材料]
	Steel SNCM431	機械構造用合金鋼鋼材(ニッケルクロムモリブデン)	JISG4053	SNCM431		1.1.1	74761211
	Steel SNCM439	機械構造用合金鋼鋼材(ニッケルクロムモリブデン)	JISG4053	SNCM439		1.1.1	74761233
	Steel SNCM447	機械構造用合金鋼鋼材(ニッケルクロムモリブデン)	JISG4053	SNCM447		1.1.1	74761250
	Steel SNCM616	機械構造用合金鋼鋼材(ニッケルクロムモリブデン)	JISG4053	SNCM616		1.1.1	74761282
	Steel SNCM625	機械構造用合金鋼鋼材(ニッケルクロムモリブデン)	JISG4053	SNCM625		1.1.1	74761308
	Steel SNCM815	機械構造用合金鋼鋼材(ニッケルクロムモリブデン)	JISG4053	SNCM815		1.1.1	74761341
	Steel SNCM630	機械構造用合金鋼鋼材(ニッケルクロムモリブデン)	JISG4053	SNCM630		1.1.1	110559535
	Steel SACM645	機械構造用合金鋼鋼材(アルミニウムクロム)	JISG4053	SACM645		1.1.1	110559556
	Mn-Mo and Mn-Mo-Ni alloy steel plates	ボイラ及び圧力容器用マンガンモリブデン鋼板	JISG3119			1.1.1	
	Mn-Mo and Mn-Mo-Ni alloy steel plates	圧力容器用調質型マンガンモリブデン鋼板	JISG3120			1.1.1	
	Cr-Mo alloy steel forgings for pressure vessels	高温圧力容器用高強度クロムモリブデン鋼鍛造材	JISG3206			1.1.1	
	Cr-Mo alloy steel plates for boilers and pressure vessels	ボイラ及び圧力容器用クロムモリブデン鋼板	JISG4109			1.1.1	
	Cr-Mo and Cr-Mo-V alloy steel plates for pressure vessels	高温圧力容器用高強度クロムモリブデン鋼板	JISG4110			1.1.1	
	Molybdenum/Molybdenum alloy	モリブデン及びモリブデン化合物	JAMAA4444	MO@		4.2	

プレビュー OK キャンセル

<変更点>
表示幅を縮小

<変更点>
[プレビュー] ボタンを新設 → 別ウィンドウにて内容を表示

<プレビュー画面>

材料の選択

材料情報詳細

表面処理識別

材料名称(英語) Cr-Mo alloy steel forgings for pressure vessels under high-temperature service

材料名称(日本語) 高温圧力容器用高強度クロムモリブデン鋼鍛鋼品

材料規格 JISG3206

材料コード(金属・その他) \$

材料記号(樹脂・ゴム)

VDA材料分類コード

NodeID[材料]

[OK] ボタン
→ 入力帳票に入力される

[キャンセル] ボタン
→ 検索結果に戻る

OK キャンセル

- ・ 検索結果画面では表示文字数の制限から材料名称等の文字列がすべて表示できないことがあります。
表示されていない文字列をプレビュー画面で表示し詳細を確認することができます。

5. 化合物検索画面の改善

項目番号 24

化合物

化合物コード

項目名称

選択

クリック

定義

化学物質の CAS Code

記入者

調査先

必須

必須 (化合物を入力)

データ型

半角英

桁数(整数)

30

桁数(小数)

0

化合物の選択

検索条件を入力して検索

物質分類(GADSL)

化合物コード(CAS No.)

Node ID

化合物名称

化合物名称(日本語)

要申告(D)(GADSL)

はい いいえ 指定なし

禁止物質(P)(GADSL)

はい いいえ 指定なし

SVHC

はい いいえ 指定なし

プロセスケミカル

はい いいえ 指定なし

検索

キャンセル

化合物名

化合物名

Node ID

要申告(D)

禁止物質(P)

SVHC

プロセスケミカル

化合物名	化合物名	Node ID	要申告(D)	禁止物質(P)	SVHC	プロセスケミカル
Solvent Green 28	CDソルベ	1954				
Solvent Red 135	CDソルベ	9955				
Solvent Red 149	CDソルベ	40855				
zenesulfonic acid, 4-amino-, diazotized, coupled	CDソルベ	54827				
ACID Red 407	1-(3-ア	3196				
72432-82-7	C.I Pigment Red 57	109415960				
74239-96-6	C.I Disperse Blue 345	3355				
75214-58-3	C.I Acid Blue 193	9994				
7585-41-3	C.I Pigment Red 48, barium salt (1:1)	570				
7585-41-3	C.I Pigment Red 48:1	570				
79665-24-0	C.I Pigment Red 262	669976				
8003-22-3	C.I Solvent Yellow 33	3317				
8003-88-1	C.I Acid Orange 51	51991				
8004-87-3	C.I Basic Violet	11047				

プレビュー

OK

キャンセル

<変更点>
画面レイアウトの変更

<変更点>
検索条件追加

<変更点>
表示幅を縮小

<変更点>
表示項目追加

<変更点>
[プレビュー] ボタンを新設 → 別ウィンドウにて内容を表示

<プレビュー画面>

化合物の選択

化合物情報詳細

化合物コード(CAS No.) 72017-66-4

化合物名称 C.I. ACID Red 407

化合物名称(日本語) 1-(3-クロロフェニル)-4-(2-ヒドロキシ-3-ニトロ-5-スルホフェニルアゾ)-5-ヒドロキシ-3-メチルピラゾールのナトリウム塩と4-(5-クロロ-2-ヒドロキシ-3-ニトロフェニルアゾ)-5-ヒドロキシ-3-メチル-1-フェニルピラゾールとのクロム錯塩のナトリウム塩

Node ID 2613196

要申告(D)
禁止物質(P)
SVHC
プロセスケミカル

[OK] ボタン
→ 入力帳票に入力される

[キャンセル] ボタン
→ 検索結果に戻る

OK キャンセル

- ・ 検索結果画面では表示文字数の制限から、化合物名称等の文字列がすべて表示できないことがあります。
表示されていない文字列をプレビュー画面で表示し詳細を確認することができます。

以下の警告が表示される条件をIMDSに合わせ変更しました。

<対象となる警告>

[mes60:警告] 10%を超えるワイルドカード物質が含まれています。

<条件> ひとつの材料に対して、以下の化合物を同時に入力

- ・ワイルドカード化合物 : 化合物含有率(残部) (項目番号:44)
 - ・ワイルドカードでない化合物: 化合物含有率(最小値) (項目番号:42) および (最大値) (項目番号:43)
- (注) ワイルドカード化合物とは、化合物コード(項目番号:24) = system と入力する化合物です。

<修正内容> 10%の判断条件を以下のとおり修正しました。

Ver.2.05 以前: 化合物含有率 (項目番号:26) に自動設定された値

Ver.2.10 : ワイルドカードでない化合物の「化合物含有率(最小値)(項目番号:42) 」の合計と100%の差

<事例> 以下の入力の場合、今後は警告が表示されます。(従来は警告なし)

	24	25	26	42	43	44
	化合物			部工会オプション		
	化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率	化合物含有率 (最小値)	化合物含有率 (最大値)	化合物含有率 (残部)
ワイルドカード	7439-89-6	Iron	90 (自動計算)	85	95	
	system	Misc., not to declare	10 (自動計算)			1

Iron(ワイルドカードでない)の化合物含有率(最小値=85%)と100%の差: 15% > 10%

JAMA統一データシート

Ver.2.10
2009年10月1日

＜変更点＞
バージョン、日付を更新
しました。

JAMA統一データシートの改正を、下記の通り実施します。

＜2009年10月1日＞

- ・IMDSのバージョンアップに対応するため、小改正版(Ver.2.10)を発効しました。
改正内容の詳細につきましては、部工会ホームページ掲載の資料を参照して下さい。
- ・外部リストの改正も実施しましたので、Ver.2.10(EXLIST-2009-10-01JP)を利用して下さい。

＜変更点＞
改正内容を追記
しました。

＜2008年11月1日＞

入力者の利便性向上、一部の材料の入カールール変更への対応のために、以下の機能を追加した小改正版(Ver.2.04)を
発効しました。また本小改正版では、従来の運用状況を確認し、不要と判断された入力項目を削除しました。
2008年11月1日以降、Ver.2.04を基本に調査を実施することになります。

[追加機能]

- ・データ入力に使用した外部リストのファイル名を履歴管理情報として、CSVファイル、XMLファイルに出力する機能
 - ・IMDSによるデータ送信時に入力が必要であるサプライヤー情報と送信先情報を、XMLファイル出力時に入力する機能
 - ・材料規格-アプリケーションコードの組合せチェック機能(公的規格で規定されていない材料のみ)
- なお、Ver.2.04と旧バージョン(Ver.2.03、Ver.2.02、Ver.2.01、Ver.2.00)の互換性は下記のとおりです。
- ・CSVファイルは、旧バージョンで作成したファイルでも読み込みできますが、エラーが発生する場合があります。
 - ・外部リストは、互換性がありませんので、Ver.2.04(EXLIST-2008-11-01JP.xls)を利用して下さい。

(中略)

JAMA統一データシートの改正(Ver.2.00)について

2006年4月1日
(社)日本自動車工業会
(社)日本自動車部品工業会

1. 改正の背景

JAMA統一データシートは、既に関係自動車メーカー及び部品メーカーにて使用されている。現在、(社)日本自動車工業会(以下JAMAと記す。)会員の大半の自動車メーカーがIMDSを使用していること、及び特に(社)日本自動車部品工業会(以下JAPIAと記す。)会員の多くの部品メーカーにおいては、IMDS入力の基本データとして本データシートが使用されている状況を考慮すると、IMDSデータ様式とJAMAデータシート様式の間で整合が図れていることが入力負荷等の観点から望ましい。そこで、その整合化推進を主目的に、調査項目及びデータシート様式を見直すこととした。また、この改正にあわせサプライヤー間のデータ収集は、原則としてJAMA統一データシートもしくはIMDSを利用して収集する方法で統一化を図ることとした。

(注)IMDS: International Material Data System

2. 改正の内容要旨(改正版は、Ver.2.00 とする。)

(以下、省略)

(1) プロセスケミカルの存在形態を追加

カラム No	項目名称	IMDSフィールド名称 (XMLファイル属性名称)	定義	入力上の注意事項／解説	入力者 ・調査元(調査元、Tier1等調査依頼をかける方) ・調査先(調査依頼を受けて回答する方) ・任意
23	プロセスケミカルの存在形態	プロセスケミカルの含有形態 ("Substance"要素 "ProcessChemType"属性)	<p>・プロセスケミカルを入力する場合、その含有形態</p> <p>プロセスケミカルとは、一般的に、製造工程の中で揮発したり、他の化合物に変化する化合物</p>	<p>・入力する化合物がプロセスケミカルかつ含有率が0.1%を超える場合、以下の含有形態のコードを入力する。 Intended use(意図的使用):1 Reaction residue(反応残留物):2 Impurity(不純物):3</p> <p>・化合物がプロセスケミカルでない場合は入力不要。</p>	調査先入力

データ提供方式 ・調査元指定 ・入力 ・選択入力 ・選択時一括入力 ・任意	備考	データ型	整数桁数	小数桁数	材料(品番が付与されていない)を対象に調査する場合の入力ルール (空欄の場合、「入力上の注意事項／解説」に従った記入をすること)
・選択入力		半角数字	2	0	

(2) リサイクルマークを削除

(1) 外部リスト

互換性なし。

必ずVer.2.10の外部リストを利用して下さい。

旧バージョンの外部リスト(Ver.2.00 ~ Ver.2.05)は、エラーチェックや選択入力が正しく動作しないため利用することができません。

(2) CSVファイル

互換性あり。

旧バージョン(Ver.2.00 ~ Ver.2.05)にて作成したCSVファイルでも取り込みできます。

ただし、入力内容によっては、外部リストの見直しに伴い、エラーが発生する可能性があります。データの修正が必要となります。